

外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
脳神経内科	午前				済生会熊本病院医師 米原(2、4週)	
心臓血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (隔週)				
消化器内科	午前	長島 不二夫	藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊大病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前			済生会熊本病院医師 三上(2、4週)	済生会熊本病院医師 占部(1、3週)	
腎臓内科	午前					町田 健治
	午後			町田 健治		
糖尿病外来	午前					済生会熊本病院医師 星乃(2週)、松尾(3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午前					
	午後					荒川 和也(2、4週)
禁煙外来	午後					藤岡 正導
動脈硬化外来	午後		藤岡 正導			
脳ドック	午後			藤岡 正導		

- 受付時間／午前8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内／TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
- ※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
- ※休日がございますので、事前にお問い合わせください。
- ※再診や紹介状をお持ちの方は事前のご予約をおすすめします。

お知らせ

ホームページに最新の休診情報を掲載していますので、ご覧ください。
新年度に一部変更を予定しております。

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

- 1.良質な医療を公平に受ける権利
- 2.診療の内容等について十分な説明を受ける権利
- 3.治療方法など自分の意志で決定する権利
- 4.個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
- 5.診療記録の開示を求める権利
- 6.あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

- 1.自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
- 2.わからない事柄について質問する義務
- 3.病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
- 4.他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。
「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



55 Take Free.
2021.2



MRIが
新しくなりました

医師年頭挨拶

みすみ病院のできごと
部署紹介[健診室]
外来医師一覧

[特集] 行事食を紹介します!

「さいせい」2021年 新年のご挨拶



院長
庄野 弘幸

「コロナ禍でも、やっぱりみすみ病院」

あけましておめでとうございます。

昨年は東京オリンピックで盛り上がるつもりだったのに、新型コロナウイルスのおかげで、大変な一年でしたね。

2021年はどのような1年になるのでしょうか？まだ先が読めませんね。果たしてオリンピックはできるのでしょうか？頑張ってきた選手の皆さんが、のびのびと競技できることを祈るばかりです。日本選手には頑張ってもらいたいですね。

そのためには、まず、コロナの感染が治まらないとだめですね。

皆さんにできることを、私なりに考えてみました。「こまめな手洗い」「うがい」「人の近くで大声をださない」「体操、散歩をする」「大勢で集まらない」です。テレビでは、家から外に出てはいけないと言いますが、それは東京などの話です。ここでは、家の外に出て人には会いません。近くを散歩したり、畑仕事をしたり、魚釣りをして下さい。笑顔を忘れないことも大事ですよ。体力を維持して、元気な一年を過ごしましょう。

「医療・福祉を通じて、安心して生活できる地域創りに貢献します」が、みすみ病院の理念です。

これは、コロナ禍の時代でも同じです。三角・上天草地域の住民が安心して生活するためには、みすみ病院が頑張らないといけません。皆さんの期待にお答えできるように、病院スタッフ一丸となって、コロナに負けずに、足が地に着いた医療や介護、福祉のサービスを行っていきます。

今年もよろしくお祈りします。



名誉院長
瀬井 圭起

新年明けましておめでとうございます。残念ながら今年ほどこのご挨拶が空々しく聞こえる年の明けはありません。皆さんにおかれましてはほとんどの方が巣ごもりの年末年始をお過ごしになったことと思います。一昨年末に発生した新型コロナウイルスは第一波、二波、三波と押し寄せる津波の如く衰えを知らず全世界を席卷しています。ようやく各種のワクチンが開発され接種が始まりましたが、その効果と副作用は未知数です。功を奏することを藁をもつかむ思いで願っています。世界中は勿論、近くは先の人吉球磨地方の大水害と様々な天変地異が頻繁に発生しています。そして今度の新型コロナウイルスの来襲、しかし、これは決して天災ではなく人災で、何かが人類に警鐘を鳴らしているのかもしれない。世界が一つになって立ち向かうべき所が未だに私利私欲に走り火事場泥棒的の行為をしている国すら見られます。更なる怒りを買わんことを祈ります。ある映画で救命ボートに乗り切れず、生き残る為の命の選択がされ、女子、子ども、若者が優先される場面がありました。その行為には非常に違和感はあるものの納得せざるを得ないと思ったことがあります。現に国民総意で納得したうえでコロナ罹患高齢者には医療行為をしない国もあります。わが国においてはワクチン接種の優先順位に病人、老人が上位にランクされています。まだまだ心の余裕が感じられありがたいことです。高齢の皆さんマスク、手洗い、うがいを励行し三密を避けて絶対コロナに罹らないようにしましょう。そして適度な運動をして他の病気も引き起こさないようにいたしましょう。

昨年は世界中が新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。皆さん方も様々な形で多くの影響を受けられたものと思います。当院でも入院患者さんへの面会をお断りするなど、診療面では過去にない対応を迫られました。診療以外でも多くの制約を受けることになりました。そのひとつが過去10年間、毎年開催してきた健康フェスタで、今年は中止を余儀なくされました。昨年のフェスタでは「来年も是非開催してください」という言葉を多くの来場者からお聞きしましたが、第2波、第3波と押し寄せるコロナはいかんともしがたく、中止という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。コロナの影響を受けたもう一つのイベントが「出前・健康講座」です。年間70回以上を数えた講座が昨年は7回しか開催できませんでした。

健康フェスタや出前・健康講座は、皆さんの病気を予防することが最大の目的でした。今年もコロナの影響でいつから再開できるか見通しは立ちませんが、それまではお一人お一人が病気を予防するためこれまで勉強してきたことをもう一度思い出して頂きたいと思っております。

来年はこの欄に「コロナが収束しましたので健康フェスタと出前・健康講座を再開します」という見出しで書けることを願っております。

新年あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお祈りします。

副院長 藤本 貴久



新年のご挨拶を申し上げます。

昨年1年はコロナウイルスが社会から生活まで様々な影響を及ぼしてきました。年が明けましても先行きは依然不透明なままです。これほど毎日が医療の情報であふれたことはないでしょう。その中には普段は接することのない医療の現場の話もあります。今回のコロナウイルスにより社会の医療への関心が高まりました。このことはコロナウイルス感染症が収束した後の人々の医療行動への変革をもたらすことになると思います。限られた医療資源、その有効活用の為にも個人個人の健康への意識を高めていただくことはとても重要です。

本年もどうぞ宜しくお祈り申し上げます。



診療部長
田辺 大朗



新年のご挨拶



整形外科部長
西口 雅彦

明けましておめでとうございます。この1年はコロナに悩まされ、新たな生活習慣を求められてきました。感染拡大を防ぐため、マスク・手洗い・3密を避けることで、たゆまぬ自己防衛を続けてきました。基礎疾患のある方、既に闘病中の方は、まだまだ不安は一杯ですが、今後も自らの健康を守ることが基本です。しかし病気や疾患がある方は、病院受診を怖がり治療を自己中断せずに、病気や疾患が悪化しないように治療を継続することも必要です。みすみ病院整形外科も、感染の発生に注意し普段の外来診療・手術を行っています。入院に際しては、面会が厳しく制限・禁止されましたが、感染拡大を防ぐために必要です。

昨年も書きましたが、生活の中に運動習慣を取り入れることが健康維持のために必要です。外出を控えた方も多いと思いますが、身近な生活環境でウォーキングや散歩、体操は重要です。“身体を動かさない不活発な生活”は、身体の熱量生産が小さく(カロリー消費が少なく)、変形性膝関節症(ロコモ)、肥満(メタボ)、心血管系障害が悪化します。百薬の長は筋運動(歩くこと)にあります。健康向上に好効果をもたらすのは、通勤時の歩行、駅の階段昇降、自転車での通学通勤、家事労働、農作業、荷物の運搬など、日常的に継続可能な有酸素運動です。額に汗がうっすらと浮かぶ程度の、日常的な筋運動が慢性炎症を抑制しロコモ(筋萎縮)の防止に大変効果があります。

高齢者の虚弱状態をフレイルと呼び、病気や環境の変化に弱くなっています。筋肉の衰えをサルコペニアと言います。筋肉が減り筋力(握力)が落ちると、身の回りのことが出来なくなり介助や介護が必要となるだけでなく、死亡する危険、寿命も短くなります。みすみ病院では、筋肉や骨の衰えを測定できます。ロコモやフレイル・サルコペニアに気づき、予防や治療に取り組み、一人一人が健康長寿を目指さなければ、日本の医療や財政は破綻します。必要な栄養をとり、筋肉の衰えを防ぐため運動を続けることが、自立した生活を続けるために必要です。腰痛や骨粗しょう症、筋肉痛、手足の痛みやしびれ、膝関節の痛みは整形外科に相談して下さい。



麻酔科
尾方 信也

新年おめでとうございます。

今年の干支(辛丑・かのとうし)は草木が枯れ新しい大地を作り、種子が殻をまさに破らんとしている転換期だそうです。

これまで、あらゆる分野でスピード化と簡便(ファースト)化が追及された感があります。今年はゆっくりと地道に安定感を持って歩く丑にちなんで、20年前から提唱されているスローライフ(ゆっくり、ゆったり、心豊かに)を少し考えてみたいと思います。これは、単にのんびり・だらだらした生活を指すではありません。

スピード化で忘れられがちな生き方、食事スタイル等を心の豊かさ(愛情、感謝、喜び、楽しみ)と自然に適応し健康を維持する生き方(自給自足、有機農産物、地産地消、運動、散歩)で取り戻す事とされています。要は日常生活にリズムをつけ、スローとファーストを使い分け自由な時間を作り出し、心身ともに健康にして如何にゆとりある生活を送るかにあります。

丑年を迎えてこれまでの自身の生活にスローライフを取り入れる良い機会かもしれません。皆さんにとって今年も健康でいい年となりますように祈っています。

2020年はコロナに明け暮れた一年で病院を取り巻く環境もこれまでとは大きく変わりました。病院に患者さんが来ることのハードルが急に高くなり、病院受診しようかと思われたときに、コロナが怖くて受診を思いとどまれた方も多かったかと思います。2021年はワクチンや治療薬等の登場が待ち望まれており、みすみ病院に皆さんが、ためらいなく安心して受診できるようになることを期待しています。例年通り、感染性胃腸炎がはやっています。寒い時期でも食べ物に注意し、これまで通り、手洗いを心がけてお過ごしください。

今年が良い一年となりますように。



外科
甲斐 幹男

新年明けましておめでとうございます。

西暦2019年は日本で初めてラグビーのワールドカップが開催されました。日本チームが新たな歴史を作り、その大活躍に感動させられました。「ワンチーム」という流行語まで生まれました。

西暦2020年は東京オリンピックでさらに盛り上がるはずでした。しかし、予想だにできなかった新型コロナウイルス感染が世界的に拡大し、その夢ははかなく消え去ってしまいました。また、7月には熊本豪雨のため、多くの犠牲者が出てしまいました。まさに大変な災いの1年でした。

昨年末から厳しい寒さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。我々は新型コロナウイルスにより、生活様式を変えざるを得なくなりました。まだまだ新型コロナウイルスの終息は見えてきません。西暦2021年はどんな年になるのでしょうか。新型コロナウイルス感染だけではなく、インフルエンザや感染性胃腸炎にも注意しなければいけません。感染対策の基本は変わりません。できるだけ密を避け、ソーシャルディスタンスを保ち、手洗い、マスク、うがいを励行して下さい。みんなで協力してこの逆境を乗り越えようではありませんか。今年も皆様が健康で幸せな生活を送れますよう、心からお祈り申し上げます。



消化器科
築村 哲人

明けましておめでとうございます。今年も宜しく願いいたします。

昨年のはやぶさ2が地球に年末帰還予定とのことで東京オリンピックよりも楽しみ、と話しておりました。無事、小惑星の砂や石をカプセルに詰めて地球に届けてくれました。その中で私が一番感銘を受けたのは、海洋に落下したカプセルの回収にオーストラリアが協力してくれたことでした。コロナ渦で大変な中でしたが、国際協力なくしては、このMISSIONは達成されなかったでしょう。国際協力しあって、このコロナ渦を打破していけることを望んでいます。少し話は逸れてしまいましたが、慢性腎臓病の発症・進行予防にはチーム医療がかかせません。私も、今年も昨年と同じく、ONE TEAMの一員として慢性腎臓病の予防・治療に精進していく所存です。皆さまのご健康を祈念いたします。



腎臓内科
町田 健治

新年あけましておめでとうございます。

昨年は皆様方に大変お世話になりました。ありがとうございます。あらためて何かをしようと言う年齢でもありませんが、あえて言うなら、地に足をつけて地道に仕事に取り組んでまいります。この時代だから必要性が高まっているかも知れませんが、リモート診療の提案を実現することができればと思います。皆様のお力添えをお願いいたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科
長島 不二夫





行事食を紹介します！ (※昨年提供したものです)

10月

「秋の味覚」

メニューはさつま芋ご飯、秋刀魚のみぞれ煮、ほうれん草の酢味噌かけ、すまし汁、旬の果物ゼリーです。「さつま芋」「秋刀魚」「梨」「ぶどう」など秋が旬の食材をふんだんに使用しました。

患者さんからは、「秋を感じさせる食物ばかりで、大変美味しくいただきました。」「秋が旬のサンマやさつま芋を病院で食べられるとは思いませんでした。美味しかったです。」といった喜びの声を多数いただきました。



11月

嗜好調査の結果を踏まえた「リクエストメニュー」

10月に実施した嗜好調査で、献立に取り入れて欲しいメニューとして希望の声が多かった「肉料理」を実施しました。主菜は「ゴロゴロ野菜の油淋鶏」です。小鉢には柚子、デザートには栗を使用し、旬の食材を取り入れました。

患者さんからは「美味しくいただきました。素敵なデザートに感謝しています。」と嬉しい声をいただきました。



12月

「クリスマス」

入院中の患者さん方にもクリスマス気分を味わっていただけたらと思い、手作りのクリスマスカードを添えてお食事を提供しました。

患者さんからは「入院中にクリスマスの食事をいただけるとは思っておらず、嬉しかったです。ありがとうございました。」と嬉しいお言葉をいただきました。



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

機器更新



▲新しくなったMRI

12月7日にMRIの更新を行いました。MRIは開院3ヵ月後に稼動を始め、今日に至るまで18年近く当院の診断装置として一翼を担ってきました。雷に打たれようとも、交換部品がなくなろうとも、幾度となく復活してきたため、今回の更新でも今後10数年、費用対病院貢献度が最大限になるように時間の限り検討しました。導入した装置はCanon製1.5T Vantage Elan Zen Editionです。

工事に伴いクロスの張り替えも実施し、リラックスして検査を受けて頂ける環境となりました。今後も三角の地で、患者さんへ安心安全の検査を実施し、診断に最適な画像を提供して参ります。

放射線検査室

部署紹介★

居心地の良い環境作りを基本とし、 毎日笑顔で、全力で対応！

2011年4月に設立し、藤本センター長、看護師1名、事務員2名でスタートしました。現在は看護師4名、検査技師1名、事務員2名と増員し、他部署の協力のおかげさまで10年目に突入しました。受診者数も2011年度の589名から2019年度は2,138名と右肩上がりです。

居心地の良い環境作りを基本とし、毎日笑顔で、全力で対応できるよう、スタッフ一同、力を出し合い頑張っています。

これからもみすみ病院健診センターをよろしくお祈りします。

健診室

